

報告とお知らせ

第23回ホタル研究大会概要

今大会の出席者数は会員85名、地元参加者を合わせると100余名に達した。

1. ホタルの生息環境づくり現地検討会、ならびに座談会

5月18日午後4時30分ごろから涌波堤提公園の人工川のホタル生息環境づくりについて検討を行い、ついで付近の生息地を見学した。同夜の座談会は例年同様の自由討議と、初心者を対象に幼虫飼育の指導助言の分科会方式で行ったが、2会場とも多数の出席者があって、9時30分まで熱心に話し合い、指導助言があった。

2. 研究大会

午前9時開会、会長開会のあいさつの後、石川県知事（代理）、金沢市長（代理）の祝辞があって、研究発表に移りひとり質問を含めて20分とし、午後2時20分終了した。

シンポジウム「ふるさといきもの里」におけるホタルの保護、増殖活動—特に10代の協力について—の現状と問題点については岡崎市河合中学校の古田忠久氏、小学校では特別ご出席を願った岐阜県美濃加茂市三和小学校の関猛雄氏、PTAとして長崎市伊良林小学校の富士妙子氏に話題を提供してもらい、熱心な討議が行われた。

3. 総会

役員会を前日の午後開き、任期満了の会長、かねて解任を申出していた村上事務局長の後任について話合った。総会では議長に関谷寛隆氏を選出、先づ規約の改正が可決。羽根田会長の任期満了に伴う役員改選は、指名委員会案が可決し、会長に村上美佐男氏、事務局長に圓谷哲男氏、副会長、幹事、監事は留任となった。なお羽根田弥太氏は顧問に推した。

4. 明年度の開催地は横須賀市に決定、時期6月になる予定。

5. 見学、観光

上天氣に恵まれ徒歩で出発、（金沢ホタルの会会員の案内にて）午前11時解散（文責 村上）